

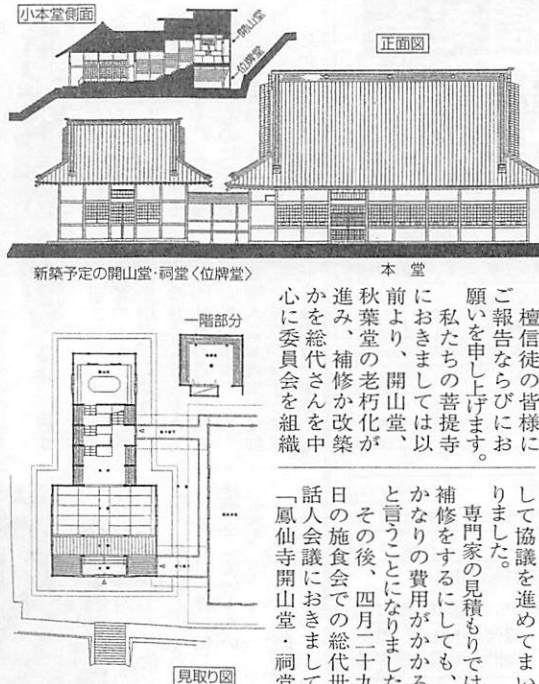
鳳仙

発行
桐生山鳳仙寺
桐生市梅田町一丁目五八
電話(0276)331-1177
E-mail info@hosenji.or.jp

開山堂 新築勸募のお願い

桐生山鳳仙寺の歴史を次の世代へ残す

檀信徒の皆様にご報告ならびにお願いを申し上げます。私たちの菩提寺におきましては以前より、開山堂、秋葉堂の老朽化が進み、補修が改築を総代さんを中心に委員会を組織



檀信徒の皆様にご報告ならびにお願いを申し上げます。私たちの菩提寺におきましては以前より、開山堂、秋葉堂の老朽化が進み、補修が改築を総代さんを中心に委員会を組織

長いあいだ鳳仙寺の筆頭総代として御活躍され、又色々御指導をして頂いた下山晴夫様が、今年になってから体調を崩され、去る三月の総代会に於いて筆頭総代を辞退されたこと、総代会で色々協議をした末に、私共が其の下山様の役職をお受する事になり

筆頭総代 小此木秀夫
言ふ事でありまして、一生懸命に頑張りたいと思っております。此の度は長年の懸案でありました。開山堂、位牌堂、秋葉堂、

「位牌堂」併設 秋葉堂・薬師堂「新築」を決意いたしました。お寺は住職とお檀家の皆様が一体となり、護持されてこそ、世代を超えて受け継がれていくのです。開山堂と祠堂にお参りいたしますと、このことがよくわかります。歴代住職から受け継いだ鳳仙寺を、やがて次の世代へ受け継いで頂かねばなりません。

今度、開山堂と祠堂の完成によって、若き後継者たちの菩提寺に対する思いもさらに深まるに違いありません。この開山堂・祠堂(位牌堂)の新築を機に、皆様の菩提寺桐生山鳳仙寺のさらなる発展を誓い合いたく存じます。何卒、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本堂建設「新築」と言ふ大事業を行う事になりました。右記の趣旨に御賛同を頂き桐生山鳳仙寺の開山以来の大仕事であります。世話人方々、壇信徒の皆様のご尚一層の御協力に今後共に本寺に對しての御指導をお願い申し上げます。上歴史ある鳳仙寺を次代へ残しましょう。

道元禅師ご修行の地、天童寺を尋ねて



春も浅い日、本を飛び立ち、新しく開設された直行便で、杭州へ向かい、空港に近づくと見渡す限りの地面が黄色と緑のまじり合ったパッチワークのような景色を見せています。さらに降すと、それは菜の花畑と麦畑でした。美しい景色と暖かな空気に迎えられた空港に降り立ちました。寧波の川岸にある道元禅師上陸記念の碑の前では、命をかけてやってきた当時の苦勞を忍び、修行された天童寺では、山の中腹に建てられた数多くの諸堂を巡りながら人々の信仰心の深さを感じました。天童寺では法要を行い、新しく方丈に建てられた釋城信ご交わりと接見し、記念品の交換や会話を交わす時間をもちました。こちらでは精進料理をいただくことができました。修行僧が口にしているもので、肉、魚を全く使わない料理

出来ましたら二口十六万円以上お願いいたします。ご負担を考慮二年間分割払いでお願いいたします。八万円以上お寄付者には、記念品として位牌を作り永代供養位牌として位牌堂へ安置します。勸募期間 二〇〇五年平成十七年から平成十八年。なお、ご寄付下さった方々の氏名並びに金額(或いは仏具名)は、石碑に刻み永くその功德を顕彰致します。仏具寄付のお願い 開山堂・祠堂位牌堂新築につき永代信仰の証として、仏具の寄付をお願い致します。 浄財一口 八万円

◆釈迦如来台座 百万円
◆二十万円以上 十軒募集
◆薬師如来台座 五十万円
◆拾万円で五軒募集
◆秋葉様台座 五十万円
◆拾万円で五軒募集
◆導師机 五拾万円
◆拾万円で五軒募集
◆天井画 五万円
◆百四十軒募集
その他仏具品物別に募集します。
仏具寄付には、その仏具にお名前を書き入れます。
なお、ご寄付下さった方々の氏名並びに金額(或いは仏具名)は、石碑に刻み永くその功德を顕彰致します。

桐生山鳳仙寺 一般墓地 一區画 30万円より (1坪/3.3㎡) 緑の林に囲まれた落ち着いた静かな環境です。ゆつたりとした南向き。お寺で参拝できます。 永代供養他 45万円 葬儀費用 菩提料等は一切かかりません。 成名・納骨式・御位牌 永代供養・墓碑書入れ 納骨堂使用管理費を含む (年会費、入葬料等は一切かかりません) 上記は一般的な葬儀です。葬儀の内容・費用はご相談下さい。 鳳仙寺ホームページアドレス http://www.hosenji.or.jp Eメールアドレス info@hosenji.or.jp

鳳仙婦人会だより

4月29日平成17年度の総会が行われた。お寺の婦人会らしく会員の皆様方が心豊かに仲よくくらしが出来ますよう、そして自分自身が仏様の教えに少しでも近づけるよう輪を広げて行きたいと思っております。

座禅と朝粥の会

毎月一日(正月を除く)七時より八時半まで座禅と朝粥の会を行っております。(会費無料)



寺報を利用して報告させて頂きます。護持費(鳳仙寺檀家の会費)は年額、一〇三、〇〇〇円となっております。院号戒名の付いている家は、一口以上のお願いとなっております。

十七年度の護持費は、四月から八月のお盆までの間に役員さんに願ひし、市外の方は郵便振替にて集めております。未だの方はお盆期間中に本堂で受付しておりますので宜しくお願い致します。墓地掃除代も集金させて頂きます。

鳳仙寺護持会 会計報告

【平成16年度・鳳仙寺護持会・会計報告書】
平成16年4月1日～平成17年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	4,849,174	本山宗費	914,940
平成15年度護持会費	3,068,000	下水道保守管理費	74,550
銀行利息入金	452	郵便局払込手数料	22,477
		銀行手数料	315
		教区新年会費	20,000
		役員花輪代金	4,000
		火災保険共済	46,180
		修理費(庫裏台所)	3,520,000
		(支出合計)	(4,602,462)
		次年度繰越金	3,315,164
合計	7,917,626	合計	7,917,626

(繰越内訳＝普通預金3,315,164円)

平成17年4月29日 上記の通り、ご報告申し上げます。
鳳仙寺護持会 総代 小此木 秀夫
会計 池田 伊佐男

婦人会長あいさつ

峰崎 由子

平成十七年度鳳仙婦人会総会で、大役の会長に推薦されてしまいました。思ってもいなかった事で、私のようなまだまだ勉強の足りないものにこの大役が努まるかどうか不安が先立ってまいります。しかし、推薦された以上、非力ではございますが先輩の方々、会員の皆様のご指導、ご鞭撻、ご協力頂きながら私なりに精一杯努めさせて頂きたいと思っております。鳳仙婦人会も再来年は創立三十周年の節目の年です。先輩の方々が築いて

婦人会主催7月例会



座禅と朝粥の会の様子

- 田村坦次様・谷俊宏様・古井朱里様・五月女英雄様・森野政江様・河内怜子様・田中美晶様・塚田利子様・小林浩様・佐藤しづ子様・大林浩敬様・嶋田稔様・山本利松様・峯岸邦光様・鈴木勝太郎様・岩野トミ子様・波辺堅次様・金子芳男様・八田一夫様・前田秀明様・金子善二郎様・高橋三郎様・津久井竹信様・前原君子様・天川伸一様・吉田登様

いつからでも入れます。申込みはお寺又役員幹事までお願い致します。

会計監査 栗原 政江
幹事 金子扶美子
副会長 天笠喜代子
会長 石原 信子
副会長 岩崎 澄子
直前会長 坪井みはと
書記 都筑由起子
金居 延子
田島登志子
吉池 良江

お知らせ下さい

下記の方々に寺報を郵送したところ、宛先不明で手紙が帰って来ましたが、お知り合いの方がおりましたらお知らせ下さい。

第3期 婦人会指導者養成講座を受講して

去る6月22日(水)金居信子さんと二人、曹洞宗関東管区教化センター主催の平成17・18年度、第3期第一回「婦人会指導者養成講座」を鳳仙寺の奥様のお取り計らいにより受講させて頂きました。有意義な一日を満喫して参りました。当日は渡良瀬川上流部の水位低下により取水制限実施と云う降雨不足の近況にも係らず雨に恵まれてしまいました。会場である東京グランドホテルへは地下鉄大門駅から急須浜松町駅へ出てタクシーに乗る

曹洞宗群馬県第八区主催 平成17年度 研修旅行

- 恒例の教区団体の旅行ご案内いたします。今年も秋田県秋田市へ
- 平成17年10月25(火)～10月27日(木)2泊3日
 - 旅行代金 お一人様63,000円(含2ヶ所院志納金)
 - 定員になり次第締め切りますので早くお申込下さい。定員120名
- 10月25日(火)
5:00朝食を準備します。
桐生＝佐野＝東北HW＝白石＝北上JCT＝秋田HW＝
12:30～13:30(昼食) 14:00～15:00(参拝) 16:30
秋田まるごと市場＝曹洞宗/麟勝院＝男鹿温泉
- 10月26日(水)
8:30 12:00～14:00(昼食・見学)
男鹿温泉＝入道崎＝寒風山回転展望台＝みちのく小京都、
角館武家屋敷＝花巻志戸平温泉 16:30
- 10月27日(木)
8:40 (11:30よりご法話予定)
志戸平温泉＝宮沢賢治記念館＝曹洞宗/奥の正法寺＝
13:00～14:30(昼食・見学) 21:00
毛越寺庭園＝関＝東北HW＝福島＝佐野＝桐生

こととしました。さすが東京タクシー乗り場は長蛇の列で待つこと13分やと乗り込み行き先を告げると、「一番乗せたいお客様である」と女性運転手が云うのです。「雨の朝は特に混み、会場が近距離に重ねて、右折車線に入る為にも動きが取れないのです」とのこと、実際私もイライラしながら運路を心配しましたがどうにかセーフと成りました。

積尊は如来が立つて一歩あるき出した姿である等々で、以下一時間半時間一杯の講義で今まで無知であった自分に進歩があった気が致します。午後には人権学習(視聴覚研修)「心ひろくこころ」と続き休憩後「他己紹介と情報交換」と題して各

うとのことでした。幾らかお寺の内容を理解するように成ると、お釈迦様とは云わずに釈尊と呼ぶように変るとも云ってました。又、我が国では死亡した人を佛様と呼ぶが正確に云うと正しくないと云い、正しくはブツダと云う源語を音で約して如来、目ざめた人、本物が見えた人等、元は、花が咲くから来て、浮屠「ふと」けとなったかも知れないとのことでした。

御詠歌のおさそい。
毎月第一・第四木曜日(一時)
お花(池の坊)のおさそい。
毎月第一・第三木曜日(一時三十分)
申し込みは鳳仙寺まで(三三)一一七七

鳳仙寺本堂 八月二十一日(日) ちびり寄席

柳家 扇丸
神田 愛山
瀧川 鯉昇

開場午後六時半
開演 午後七時
本券二千五百円
きつび販売予約
おはけ番販事務局
0143-2110111
販売予約
藤江医院 鳳仙寺 ようづ園
宗務所別に紹介があります。